



2026年 9 月 29 日

各 位

会社名 ポート株式会社
代表者名 代表取締役社長CEO 春日博文
(コード番号：7047 東証グロース・福証Q-Board)
常務執行役員兼
問い合わせ先 財務 I R 部長 辻本 拓

TEL. 03-5937-6466

系統用蓄電所事業開発投資決定 (栃木大田原、埼玉入間、埼玉比企嵐山、新潟北蒲原) に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、系統用蓄電所事業で新たに4ヶ所（栃木大田原、埼玉入間、埼玉比企嵐山、新潟北蒲原）での開発投資を決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

2027年3月期においては、10ヶ所程度の系統用蓄電所開発を目指し、2026年4～6月で既に10ヶ所の開発投資を決定しておりましたが、稼働している系統用蓄電所の収益状況も順調に推移していることや、2026年9月15日公表の第三者割当増資での調達資金による開発資金一部充当や財務基盤強化による借入余力が拡充できていることを踏まえ、今回4ヶ所での追加開発投資を決定いたしました。2027年3月期では計14ヶ所の決定となります。

また、既に稼働している3ヶ所を含めて、合計17ヶ所の蓄電所を保有することとなります。

記

1. 事業開始の背景及び目的

当社グループは「社会的負債を、次世代の可能性に。」をパーパスに掲げ、企業の経営課題である成約活動に対して、高い成約力とマルチチャネルマーケティング力で、当社が集客から成約までのKPIを背負うことで、掛け捨てリスクをゼロにし、成約時に報酬が発生する成果報酬型モデルとなる成約支援事業を展開しております。

エネルギー領域では、電力・ガス事業者の成約支援や業務支援サービスを提供しており、電力事業者向けの支援においては、電気の新規契約獲得（成約支援）だけでなく、電気開通までの業務支援（開通支援）も行っており一気通貫型での成約支援サービスを提供しております。現在、総成約件数は年間90万件以上で国内最大規模（※1）の成約支援事業者となっております。また、中期経営計画（PORT ODYSSEY800）においても「エネルギー領域のパーティカル支援構想」としてストック利益の拡充に加えて、販売活動に関する成約支援及び通電・調達に関する業務支援を一気通貫で提供し、電力事業者のバリューチェーンに深く入り込み、電力事業者にとって必要不可欠な存在となることを目指しております。

系統用蓄電所事業への参入検証では、2025年3月期において3ヶ所の蓄電所開発を進めておりました。2026年3月期においては、ポート群馬伊勢崎第一蓄電所（稼働開始日：2025年6月10日）、ポート群馬太田蓄電所（稼働開始日：2025年6月18日）、ポート群馬伊勢崎第二蓄電所（稼働開始日：2025年10月16日）の3ヶ所全ての稼働を開始しております。また、需給調整市場での取引を、ポート群馬伊勢崎第一蓄電所において2025年10月16日から、ポート群馬太田蓄電所において2025年12月1日から、ポート群馬伊勢崎第二蓄電

所において2026年4月6日から開始しております。市場取引の実績についても順調に進捗しており、初年度（2026年3月期）から黒字化し、2027年3月期においても通年で利益貢献する見通しとなっております。

そのような状況において、2026年4月17日付で系統用蓄電所事業へ本格参入することを決定し、2027年3月期において、同日（4月17日）に4ヶ所の開発投資を決定し、2026年5月26日には3ヶ所、2026年6月19日には3ヶ所の開発投資を決定いたしました。

本日、新たに栃木大田原、埼玉入間、埼玉比企嵐山、新潟北蒲原の4ヶ所の開発投資を決定いたしました。4ヶ所の開発投資決定で、2027年3月期では合計14ヶ所の開発投資決定となります。

※1：「国内最大規模」当社調べによるものになります。

2. 新たに開発投資決定した系統用蓄電所の概要

(1) 系統用蓄電所の内容

名称	栃木大田原蓄電所	埼玉入間蓄電所	埼玉比企嵐山蓄電所	新潟北蒲原蓄電所
所在地	栃木県大田原市	埼玉県入間郡	埼玉県比企郡	新潟県北蒲原郡
FY26件数	11ヶ所目	12ヶ所目	13ヶ所目	14ヶ所目
電力エリア	東京電力	東京電力	東京電力	東北電力
蓄電池出力	約2MW	約2MW	約2MW	約2MW
蓄電池容量	約8MWh	約8MWh	約8MWh	約8MWh
着工予定	2026年11月頃	2026年11月頃	2026年11月頃	2026年11月頃
稼働予定	2027年4月頃	2027年5月頃	2027年6月頃	2027年7月頃

(2) 開発投資額及び投資資金原資

4ヶ所の蓄電所への投資額は、約16億円になります。

投資額については、複数金融機関から調達予定（第三者割当増資による調達資金を一部充当する可能性もあります）となります。

なお、個々の蓄電所における投資額については、当社グループの業績及び財務状態に与える重要性が軽微であるため、具体的な金額の記載は非開示とさせていただきます。

3. 2027年3月期開発投資決定済み蓄電所

名称	長野佐久第一蓄電所	長野木曽蓄電所	長崎佐世保上原蓄電所	長崎佐世保吉井蓄電所
所在地	長野県佐久市	長野県木曽郡	長崎県佐世保市	長崎県佐世保市
FY26件数	1ヶ所目	2ヶ所目	3ヶ所目	4ヶ所目
電力エリア	中部電力	中部電力	九州電力	九州電力
蓄電池出力	約2MW	約2MW	約2MW	約2MW
蓄電池容量	約8MWh	約8MWh	約8MWh	約8MWh
着工予定	2026年6月頃	2026年6月頃	2026年6月頃	2026年6月頃
稼働予定	2026年12月頃	2027年5月頃	2027年1月頃	2027年4月頃

名称	栃木都賀蓄電所	滋賀彦根蓄電所	長野佐久第二蓄電所	京都木津川蓄電所
所在地	栃木県栃木市	滋賀県彦根市	長野県佐久市	京都府木津川市
FY26件数	5ヶ所目	6ヶ所目	7ヶ所目	8ヶ所目
電力エリア	東京電力	関西電力	中部電力	関西電力
蓄電池出力	約2MW	約2MW	約2MW	約2MW
蓄電池容量	約8MWh	約8MWh	約8MWh	約8MWh
着工予定	2026年6月頃	2026年7月頃	2026年7月頃	2026年8月頃
稼働予定	2027年1月頃	2027年9月頃	2027年12月頃	2027年5月頃

名称	長野下伊那蓄電所	京都福知山蓄電所
所在地	長野県下伊那郡	京都府福知山市
FY26件数	9ヶ所目	10ヶ所目
電力エリア	中部電力	関西電力
蓄電池出力	約2MW	約2MW
蓄電池容量	約5MWh	約5MWh
着工予定	2026年8月頃	2026年8月頃
稼働予定	2027年11月頃	2028年1月頃

・10ヶ所の蓄電所への投資額は約39億円になります。

4. 業績に与える影響

本件が2027年3月期業績に与える影響については、2026年8月12日に公表の2027年3月期通期業績予想に織り込んでおりますが、進捗状況を含めて今後開示が必要になりましたら、速やかに公表いたします。

なお、2027年3月期については現在稼働している群馬県の2ヶ所の系統用蓄電所の収益が、第1四半期から収益寄与しており、第2四半期から3ヶ所の系統用蓄電所の収益寄与が見込まれております。2027年3月期に追加開発の予定の系統用蓄電所稼働開始後の一定期間の赤字影響を含めても、2027年3月期業績への利益寄与が見込めております。

以 上

(参考) 当期業績予想及び前期実績

	売上 収益	EBITDA ※ 1	将来利益込 EBITDA※ 2	営業 利益	税引前 利益	当期 利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
業績予想 (2027年3月期)	百万円 39,000	百万円 7,000	百万円 11,500	百万円 5,400	百万円 5,300	百万円 3,470	百万円 3,310	円 銭 252.33
前期実績 (2026年3月期)	29,100	5,334	8,707	4,073	4,004	2,808	2,717	206.56

※ 1 EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋固定資産除却損及び評価損益＋株式報酬費用

※ 2 将来利益込みEBITDA＝EBITDA＋将来利益